

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-190527 (P2003-190527A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 8 日 (2003.7.8)
 【出願番号】特願 2001-397743 (P2001-397743)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 10 月 14 日 (2004.10.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

パチンコ球が始動口に入賞することに基づいて図柄表示装置に複数の識別図柄を変動状態および変動停止状態で順に表示し、複数の識別図柄の変動停止時の態様によって大当りの抽選結果を報知する構成のものにおいて、

パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいて大当りおよび外れを抽選する大当り抽選手段と、

前記大当り抽選手段が外れを抽選した場合に外れリーチおよび完全外れを抽選するリーチ抽選手段と、

複数の識別図柄を所定タイミングで変動停止させるための変動パターンとして、前記大当り抽選手段の抽選結果が大当りであることを報知するときに使用する大当り用の変動パターン・前記リーチ抽選手段の抽選結果が外れリーチであることを報知するときに使用する外れリーチ用の変動パターン・前記リーチ抽選手段の抽選結果が完全外れであることを報知するときに使用するものであって停止順序が最終の識別図柄を変動停止させるための変動停止タイミングが大当り用の変動パターンおよび外れリーチ用の変動パターンの双方に比べて早い完全外れ用の変動パターンが記録された記録手段と、

前記大当り抽選手段が大当りを抽選したときには複数の識別図柄を大当りの組合せに設定し、前記リーチ抽選手段が外れリーチおよび完全外れを抽選したときには複数の識別図柄を外れリーチの組合せおよび完全外れの組合せに設定する図柄設定手段と、

パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいてカウンタを加算し、複数の識別図柄を確定させるための図柄確定指令が出力されることに基づいてカウンタを減算する計測手段と、

前記大当り抽選手段が大当りを抽選したときには前記記録手段に記録された複数の変動パターンのうちから大当り用の変動パターンを選択し、前記リーチ抽選手段が外れリーチおよび完全外れを抽選したときには外れリーチ用の変動パターンおよび完全外れ用の変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、

前記計測手段の計測結果が設定値以上で且つ外れリーチが抽選されたことに基づいて前記変動パターン選択手段の変動パターンの選択結果を外れリーチ用から完全外れ用に変更する変動パターン変更手段と、

複数の識別図柄を設定された変動パターンに応じて変動停止させる表示制御手段とを備え、

前記表示制御手段は、

変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されたときには複数の識別図柄を完全外れ用の変動パターンに応じて外れリーチの組合せで変動停止させ、

変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されなかったときには複数の識別図柄を外れリーチ用の変動パターンに応じて外れリーチの組合せで変動停止させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

パチンコ球が始動口に入賞することに基づいて下記a)～c)の処理動作を実行するメイン制御装置と、

a) 大入賞口を閉鎖状態から開放する大当り・変動停止順序が1番目の第1図柄および変動停止順序が2番目の第2図柄の変動停止状態で大当りとなる可能性が存在し且つ変動停止順序が最終の第3図柄の変動停止状態で大当りとならない外れリーチ・第1図柄および第2図柄の変動停止状態で大当りとなる可能性が存在しない完全外れを抽選する

b) 大当りが抽選されたときには第1図柄～第3図柄を大当りの組合せに設定し、外れリーチおよび完全外れが抽選されたときには第1図柄～第3図柄を外れリーチの組合せおよび完全外れの組合せに設定する

c) 第1図柄～第3図柄を所定タイミングで変動停止させるための変動パターンを設定する

前記メイン制御装置からの指令内容に応じて下記d)～f)の処理動作を実行するサブ制御装置とを備え、

d) 図柄表示装置に第1図柄～第3図柄を設定順序で変動表示する

e) 前記メイン制御装置の変動パターンの設定結果に応じた映像パターンを設定し、第1図柄～第3図柄を映像パターンの設定結果で変動停止させる

f) 第1図柄～第3図柄を前記メイン制御装置の設定結果に応じた組合せで静止表示し、大当り・外れリーチ・完全外れの抽選結果を報知する

前記メイン制御装置は、

大当りが抽選されたこと報知するときに使用する大当り用の変動パターン・外れリーチが抽選されたことを報知するときに使用する外れリーチ用の変動パターン・完全外れが抽選されたことを報知するときに使用するものであって第3図柄を変動停止させるための変動停止タイミングが大当り用の変動パターンおよび外れリーチ用の変動パターンの双方に比べて早い完全外れ用の変動パターンが記録された記録手段と、

パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいてカウンタを加算し、第1図柄～第3図柄を確定させるための図柄確定指令が出力されることに基づいてカウンタを減算する計測手段と、

大当りが抽選されたときには前記記録手段に記録された複数の変動パターンのうちから大当り用の変動パターンを選択し、外れリーチおよび完全外れが抽選されたときには外れリーチ用の変動パターンおよび完全外れ用の変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、

前記計測手段の計測結果が設定値以上で且つ外れリーチが抽選されたことに基づいて前記変動パターン選択手段の変動パターンの選択結果を外れリーチ用から完全外れ用に変更する変動パターン変更手段とを有し、

前記サブ制御装置は、

第1図柄～第3図柄を変動停止させる映像パターンが複数記録された記録手段と、

前記記録手段に記録された複数の映像パターンのうちから前記メイン制御装置からの変動パターンに応じた映像パターンを選択する映像パターン選択手段と、

第1図柄～第3図柄を前記映像パターン選択手段の選択結果に応じた映像パターンで変動停止させる表示制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、

変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されたときには第1図柄～第3図柄を完全外れ用の変動パターンに応じた映像パターンを用いて外れリーチの組合せで変動停止させ、

変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されなかったときには第1図柄～第3図柄を外れリーチ用の変動パターンに応じた映像パターンを用いて外れリーチの組合せで変動停止させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

変動パターン変更手段は、計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて大当りの信頼度が最低の変動パターンが選択されていることに基づいて変動パターンを完全外れ用に変更することを特徴とする請求項1～2のいずれかに記載の遊技機。

【請求項4】

変動パターン変更手段は、計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて判定用カウンタ値の取得結果が設定範囲内であることに基づいて変動パターンを完全外れ用に変更することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

特典の獲得の有無を判定する判定手段を備え、

変動パターン変更手段は、

特典の非獲得状態では計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて判定用カウンタ値の取得結果が設定範囲内であることに基づいて変動パターンを完全外れ用に変更し、

特典の獲得状態では計測手段の計測結果および外れリーチの抽選に基づいて変動パターンを完全外れ用に変更することを特徴とする請求項4記載の遊技機。

【請求項6】

特典の獲得の有無を判定する判定手段を備え、

変動パターン変更手段は、

特典の非獲得状態では計測手段の計測結果を第1の設定値と比較し、

特典の獲得状態では第1の設定値より小さな第2の設定値と比較することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の遊技機は、パチンコ球が始動口に入賞することに基づいて図柄表示装置に複数の識別図柄を変動状態および変動停止状態で順に表示し、複数の識別図柄の変動停止時の態様によって大当りの抽選結果を報知する構成のものにおいて、パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいて大当りおよび外れを抽選する大当り抽選手段と、前記大当り抽選手段が外れを抽選した場合に外れリーチおよび完全外れを抽選するリーチ抽選手段と、複数の識別図柄を所定タイミングで変動停止させるための変動パターンとして前記大当り抽選手段の抽選結果が大当りであることを報知するときに使用する大当り用の変動パターン・前記リーチ抽選手段の抽選結果が外れリーチであることを報知するときに使用する外れリーチ用の変動パターン・前記リーチ抽選手段の抽選結果が完全外れであることを報知するときに使用するものであって停止順序が最終の識別図柄を変動停止させるための変動停止タイミングが大当り用の変動パターンおよび外れリーチ用の変動パターンの双方に比べて早い完全外れ用の変動パターンが記録された記録手段と、前記大当り抽選手段が大当りを抽選したときには複数の識別図柄を大当りの組合せに設定し前記リーチ抽選手段

が外れリーチおよび完全外れを抽選したときには複数の識別図柄を外れリーチの組合せおよび完全外れの組合せに設定する図柄設定手段と、パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいてカウンタを加算し複数の識別図柄を確定させるための図柄確定指令が出力されることに基いてカウンタを減算する計測手段と、前記大当たり抽選手段が大当たりを抽選したときには前記記録手段に記録された複数の変動パターンのうちから大当たり用の変動パターンを選択し前記リーチ抽選手段が外れリーチおよび完全外れを抽選したときには外れリーチ用の変動パターンおよび完全外れ用の変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、前記計測手段の計測結果が設定値以上で且つ外れリーチが抽選されたことに基づいて前記変動パターン選択手段の変動パターンの選択結果を外れリーチ用から完全外れ用に変更する変動パターン変更手段と、複数の識別図柄を設定された変動パターンに応じて変動停止させる表示制御手段とを備え、前記表示制御手段は、変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されたときには複数の識別図柄を完全外れ用の変動パターンに応じて外れリーチの組合せで変動停止させ、変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されなかったときには複数の識別図柄を外れリーチ用の変動パターンに応じて外れリーチの組合せで変動停止させるところに特徴を有する。

上記手段によれば、外れリーチの抽選時には計測手段の計測結果が設定値と比較され、計測結果が設定値以上であるときには変動パターンの変更処理が確定的または非確定的に行われる。この変更処理時には変動パターンが完全外れ用のものに更新され、最終の識別図柄の変動停止タイミングが当初の外れリーチ用の変動パターンに比べて早まる。このため、計測手段の計測結果が上限値から早く減算される頻度が高くなるので、パチンコ球が始動口に入賞したにも拘らず無効化されることが少なくなり、大当たりの獲得に対するマイナス要因が低減される。しかも、外れリーチの抽選結果が完全外れに書換えられるのではなく、外れリーチの抽選結果はそのまま図柄の変動時間だけが短縮されるので、遊技の公平性が損なわれることもない。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

請求項2記載の遊技機は、パチンコ球が始動口に入賞することに基づいて下記a)～c)の処理動作を実行するメイン制御装置と、

a) 大入賞口を閉鎖状態から開放する大当たり・変動停止順序が1番目の第1図柄および変動停止順序が2番目の第2図柄の変動停止状態で大当たりとなる可能性が存在し且つ変動停止順序が最終の第3図柄の変動停止状態で大当たりとならない外れリーチ・第1図柄および第2図柄の変動停止状態で大当たりとなる可能性が存在しない完全外れを抽選する

b) 大当たりが抽選されたときには第1図柄～第3図柄を大当たりの組合せに設定し、外れリーチおよび完全外れが抽選されたときには第1図柄～第3図柄を外れリーチの組合せおよび完全外れの組合せに設定する

c) 第1図柄～第3図柄を所定タイミングで変動停止させるための変動パターンを設定する

前記メイン制御装置からの指令内容に応じて下記d)～f)の処理動作を実行するサブ制御装置とを備え、

d) 図柄表示装置に第1図柄～第3図柄を設定順序で変動表示する

e) 前記メイン制御装置の変動パターンの設定結果に応じた映像パターンを設定し、第1図柄～第3図柄を映像パターンの設定結果で変動停止させる

f) 第1図柄～第3図柄を前記メイン制御装置の設定結果に応じた組合せで静止表示し、大当たり・外れリーチ・完全外れの抽選結果を報知する

前記メイン制御装置は、大当たりが抽選されたことを報知するときに使用する大当たり用の変動パターン・外れリーチが抽選されたことを報知するときに使用する外れリーチ用の変動

パターン・完全外れが抽選されたことを報知するときに使用するものであって第3図柄を変動停止させるための変動停止タイミングが大当り用の変動パターンおよび外れリーチ用の変動パターンの双方に比べて早い完全外れ用の変動パターンが記録された記録手段と、パチンコ球が前記始動口に入賞することに基づいてカウンタを加算し第1図柄～第3図柄を確定させるための図柄確定指令が出力されることに基づいてカウンタを減算する計測手段と、大当りが抽選されたときには前記記録手段に記録された複数の変動パターンのうちから大当り用の変動パターンを選択し外れリーチおよび完全外れが抽選されたときには外れリーチ用の変動パターンおよび完全外れ用の変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、前記計測手段の計測結果が設定値以上で且つ外れリーチが抽選されたことに基づいて前記変動パターン選択手段の変動パターンの選択結果を外れリーチ用から完全外れ用に変更する変動パターン変更手段とを有し、

前記サブ制御装置は、第1図柄～第3図柄を変動停止させる映像パターンが複数記録された記録手段と、前記記録手段に記録された複数の映像パターンのうちから前記メイン制御装置からの変動パターンに応じた映像パターンを選択する映像パターン選択手段と、第1図柄～第3図柄を前記映像パターン選択手段の選択結果に応じた映像パターンで変動停止させる表示制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されたときには第1図柄～第3図柄を完全外れ用の変動パターンに応じた映像パターンを用いて外れリーチの組合せで変動停止させ、変動パターンの選択結果が外れリーチ用から完全外れ用に変更されなかったときには第1図柄～第3図柄を外れリーチ用の変動パターンに応じた映像パターンを用いて外れリーチの組合せで変動停止させるところに特徴を有する。

上記手段によれば、外れリーチの抽選時には計測手段の計測結果が設定値と比較され、計測結果が設定値以上であるときには変動パターンの変更処理が確定的または非確定的に行われる。この変更処理時には変動パターンが完全外れ用のものに更新され、最終の識別図柄の変動停止タイミングが当初の外れリーチ用の変動パターンに比べて早まる。このため、パチンコ球が始動口に入賞したにも拘らず無効化されることが少なくなるので、大当りの獲得に対するマイナス要因が低減される。しかも、外れリーチの抽選結果はそのまま図柄の変動時間だけが短縮されるので、遊技の公平性が損なわれることもない。

【**手続補正4**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0005

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0005】

請求項3記載の遊技機は、計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて大当りの信頼度が最低の変動パターンが選択されていることに基づいて変動パターン変更手段が変動パターンを完全外れ用に変更するところに特徴を有する。

上記手段によれば、大当りの信頼度が最低の外れリーチ用の変動パターンが完全外れ用の変動パターンに変更される。このため、大当りの信頼度が最低のリーチアクションを見ることに費やす時間が短くなるので、遊技のおもしろさを損なうことなく図柄変動時間を短縮できる。

【**手続補正5**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0006

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0006】

請求項4記載の遊技機は、計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて判定用カウンタ値の取得結果が設定範囲内であることに基づいて変動パターン変更手段

が変動パターンを完全外れ用に変更するところに特徴を有している。

上記手段によれば、変動パターンの変更処理が判定用カウンタの計測値に応じて無作為に行われる。このため、最終の識別図柄が早く変動停止する画面および遅く変動停止する画面がランダムに出現するようになるので、画面に変化ができ、遊技のおもしろさが高まる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項5記載の遊技機は、特典の獲得の有無を判定する判定手段を備え、特典の非獲得状態では計測手段の計測結果および外れリーチの抽選の両条件に加えて判定用カウンタ値の取得結果が設定範囲内であることに基づいて変動パターン変更手段が変動パターンを完全外れ用に変更し、特典の獲得状態では計測手段の計測結果および外れリーチの抽選に基づいて変動パターン変更手段が変動パターンを完全外れ用に変更するところに特徴を有している。

上記手段によれば、特典の獲得状態では変動パターンの変更処理が判定用カウンタ値の取得結果に拘らず行われる。このため、特典の獲得状態で図柄変動時間が短縮される頻度が高まり、パチンコ球が始動口に入賞したにも拘らず無効化される頻度が一層少なくなるので、大当りの獲得に対するマイナス要因が一層低減される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

メイン制御装置22のROM24には完全外れ用の図柄テーブルが記録されている。この図柄テーブルは図柄カウンタ値Nzと外れ図柄との対応関係を示すものであり、CPU23は完全外れを判定したときにはステップS57へ移行し、完全外れ用の図柄テーブルから表示データ記録部の図柄カウンタ値Nzに応じた完全外れ図柄を取得する。この完全外れ図柄は左列、中列、右列の3個の数字図柄ZSの組合せを称するものであり、完全外れ図柄の左列および右列は「1」～「12」のうちの異なる値に設定されている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

CPU23はステップS58へ移行すると、変動パターンPaを設定する。この変動パターンPaは図柄表示装置16に表示する演出パターンを設定するためのものであり、以下、変動パターンPaの設定処理について詳述する。

メイン制御装置22のROM24には、図10の(b)～(d)に示すように、外れリーチ用の変動パターンテーブルと大当り用の変動パターンテーブルと完全外れ用の変動パターンテーブルとが記録されている。これら各変動パターンテーブルは変動パターンカウンタNhの計測値と変動パターンとの対応関係を示すものであり、CPU23は図10の(a)のステップS211へ移行すると、先の大当り判定結果が完全外れであるかを判断する。ここで完全外れを検出すると、ステップS220へ移行し、図10の(d)の完全外れ用の変動パターンテーブルから変動パターンカウンタNhに基づいて変動パターンPaを「3」に設定する。尚、変動パターン「3」は完全外れ用の変動パターンに相当す

る。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

CPU23は図10の(a)のステップS211で外れリーチを検出したときにはステップS212で図10の(b)の外れ用の変動パターンテーブルから変動パターンカウンタ値Nhに応じた変動パターンを設定する。また、図10の(a)のステップS211で大当りを検出したときにはステップS212で図10の(c)の大当り用の変動パターンテーブルから変動パターンカウンタ値Nhに応じた変動パターンを設定する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 9 】

